

## 「お客さま本位の業務運営への取組状況」

### 1. お客さまの多様なニーズを踏まえた商品ラインアップの整備

- ・お客さまの様々なニーズにお応えする商品ラインアップの整備・拡充を図っています。
- ・2020年3月末現在、投資信託は108ファンド、うちノーロードファンド9本を取扱中です。
- ・2020年3月末現在、生命保険は一時払商品16商品（円建6、外貨建12、重複2商品）、平準払商品50商品を取扱中です。

#### 【投資信託ラインアップ】

2020年3月末現在

カテゴリ	取扱商品数	取扱商品比率
国内債券	3	(3%)
国内株式	14	(13%)
国内REIT	2	(2%)
海外債券	21	(19%)
うち、先進国	(12)	(11%)
うち、ハイイールド	(2)	(2%)
うち、エマージング	(7)	(6%)
海外株式	33	(31%)
うち、先進国	(28)	(26%)
うち、エマージング	(5)	(5%)
海外REIT	5	(5%)
資産複合（バランス）	24	(22%)
その他資産	6	(6%)
<b>合計</b>	<b>108</b>	<b>(100%)</b>
（うち、ノーロード投信）	(9)	(8%)
（うち、つみたてNISA商品）	(4)	(4%)

※公社債投資信託および新規取扱停止商品を除く

※コース等がある場合はそれぞれ1商品としてカウント

#### 【生命保険ラインアップ】

2020年3月末現在

商品種類		取扱商品数	取扱商品比率
一時払商品	円建て	6	9%
	うち、定額年金※	(1)	(1%)
	うち、終身保険※	(5)	(7%)
	外貨建て	12	18%
	うち、定額年金※	(3)	(4%)
	うち、変額年金	(2)	(3%)
平準払商品	うち、終身保険※	(7)	(10%)
	終身保険	2	3%
	定期保険	22	32%
	疾病・医療・介護・がん保険	18	26%
	学資保険	1	1%
	年金保険	2	3%
養老保険	1	1%	
所得保障・収入保障保険	4	6%	
<b>合計</b>	<b>68</b>	<b>100%</b>	
（うち、手数料開示商品）		(12)	(18%)

※一時払商品のうち2商品については円建・外貨建で重複

※販売休止中の商品を含む

#### 【取扱中の投資信託会社・保険会社数】

投資信託会社	15社	生命保険会社	11社
--------	-----	--------	-----

- ・2019年度の投資信託・生命保険の販売上位10商品は以下のとおりです。
- ・投資信託の販売上位10商品のうち、毎月分配型商品は3商品です。
- ・生命保険の販売上位10商品のうち、円建は3商品、外貨建は7商品です。

#### 【2019年度 投資信託 販売上位10商品】

順位	ファンド名	投資対象	決算回数	運用会社
1	新光US-REITオープン	海外REIT	毎月	アセットマネジメントOne(株)
2	SMTAMダウ・ジョーンズ インデックスファンド	海外株式	年1回	三井住友トラスト・アセットマネジメント(株)
3	グローバル3倍3分法ファンド（1年決算型）	資産複合	年1回	日興アセットマネジメント(株)
4	グローバル3倍3分法ファンド（隔月分配型）	資産複合	年6回	日興アセットマネジメント(株)
5	日経225ノーロードオープン	国内株式	年1回	アセットマネジメントOne(株)
6	FANG+インデックス・オープン	海外株式	年1回	大和アセットマネジメント(株)
7	DIAMオーストラリアリートオープン	海外REIT	毎月	アセットマネジメントOne(株)
8	ラサール・グローバルREITファンド	海外REIT	毎月	日興アセットマネジメント(株)
9	サイバーセキュリティ株式オープン（為替ヘッジなし）	海外株式	年1回	三菱UFJ国際投信(株)
10	ダイワJ-REITオープン	国内REIT	年4回	大和アセットマネジメント(株)

#### 【2019年度 生命保険 販売上位10商品】

順位	商品名	通貨・商品種類	生命保険会社
1	たのしみ未来（全期前納払い）	円建・年金保険	住友生命保険相互会社
2	ふるはーとJロードプラス	円建・終身保険	住友生命保険相互会社
3	ロングドリームGOLD3（米ドル建）	外貨建・終身保険	日本生命保険相互会社
4	しあわせ、ずっと2（米ドル建）	外貨建・終身保険	三井住友海上プライマリー生命保険(株)
5	たのしみグローバル 定率増加プラン（米ドル建）	外貨建・年金保険	住友生命保険相互会社
6	ふるはーとJロードグローバルII（米ドル建）	外貨建・終身保険	住友生命保険相互会社
7	おおきな、まごころ（米ドル建）	外貨建・終身保険	三井住友海上プライマリー生命保険(株)
8	やさしさ、つなぐ（米ドル建）	外貨建・終身保険	三井住友海上プライマリー生命保険(株)
9	ふるはーとJロードグローバル（米ドル建）	外貨建・終身保険	住友生命保険相互会社
10	やさしさ、つなぐ（円建）	円建・終身保険	三井住友海上プライマリー生命保険(株)

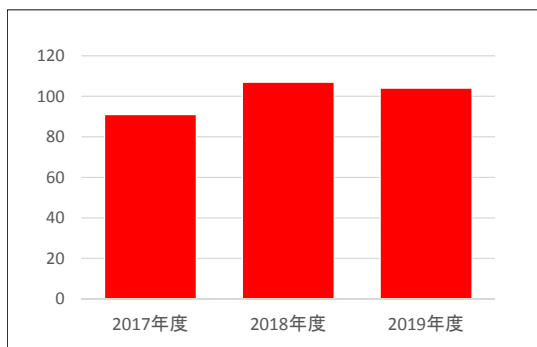
## 2. お客さま本位の情報提供とコンサルティングの実践

### 【お客さま向けセミナー・相談会開催数】

	2017年度	2018年度	2019年度
お客さま向けセミナー 相談会開催数（回）	91	107	104

※営業店での個別開催を除く

投資信託セミナーや相続・贈与セミナー、年金相談会等の専門的かつ幅広い分野のセミナー・相談会等を開催し、お客さまのお役に立つ情報をご提供しております。引き続き、お客さま本位の情報提供とコンサルティングの実践に取り組んでまいります。

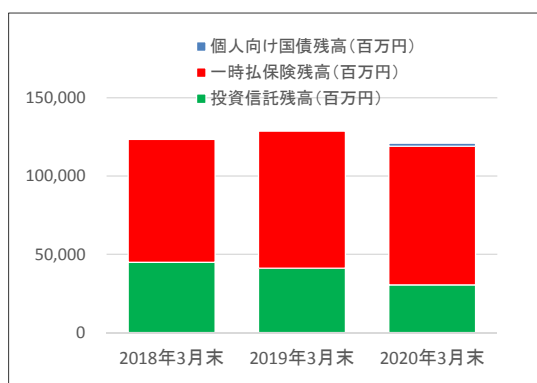


### 【預り資産残高の推移】

	2018年3月末	2019年3月末	2020年3月末
投資信託残高（百万円）	44,902	41,118	30,422
一時払保険残高（百万円）	78,452	87,730	88,613
個人向け国債残高（百万円）	878	764	1,963
合計	124,232	129,612	120,998

※預り資産…投資信託+一時払保険+個人向け国債

お客さまのご意向に適した商品・サービス・情報のご提供に加え、タブレット端末等の活用により、アフターフォローを充実させ、預り資産残高の積み上げを図っております。引き続き、市場環境や見通し等をわかりやすくお伝えできるよう努めてまいります。

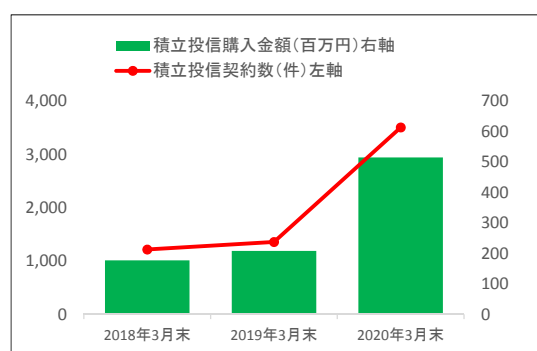


### 【積立投信口座数および購入金額の推移】

	2018年3月末	2019年3月末	2020年3月末
積立投信契約数（件）	1,215	1,355	3,504
積立投信購入金額（百万円）	177	208	515

※契約数は期末時点、購入金額は1年間の累計金額

長期・積立・分散投資による資産形成に適した積立投信を広くお客さまに提案した結果、積立投信の契約数・積立投信による購入金額とも大幅に増加しています。引き続き、長期・積立・分散投資による資産形成のための取り組みを強化してまいります。



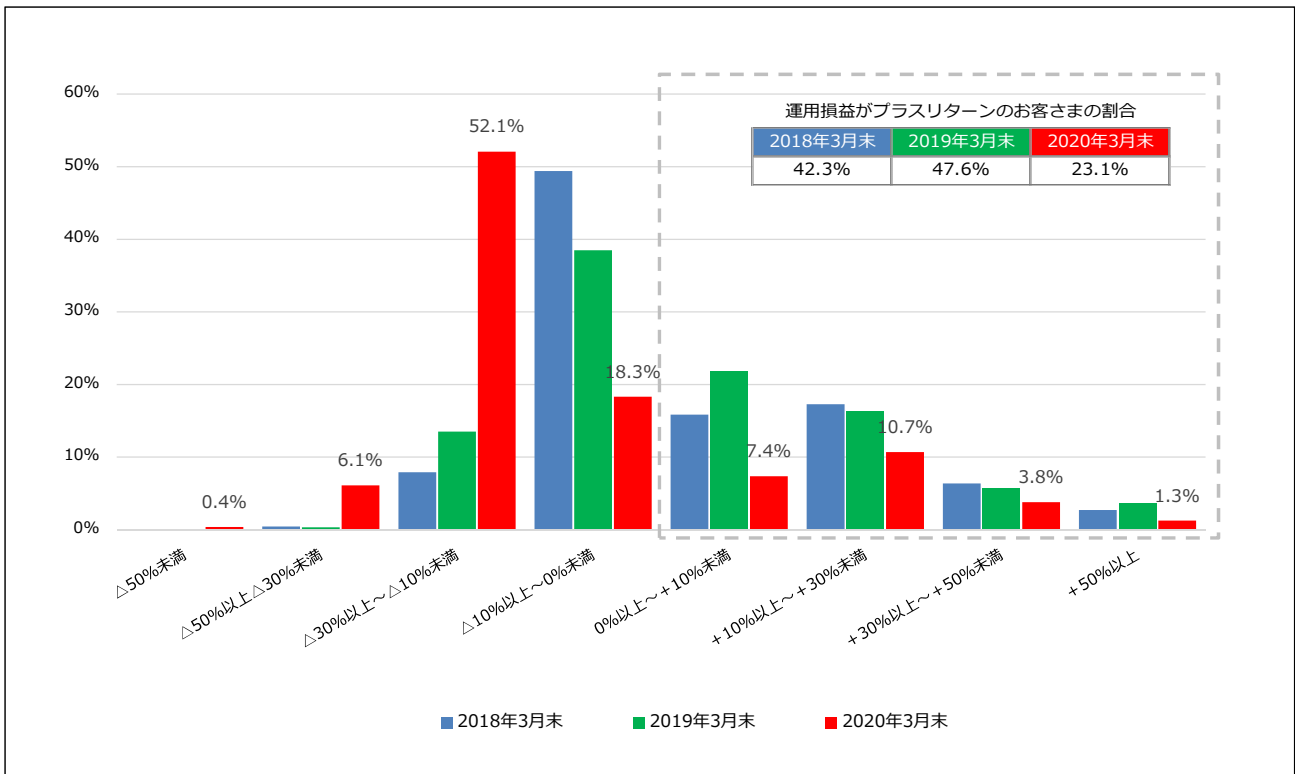
## 3. お客さま本位の販売態勢の整備

お客さまのニーズ、利益に資する総合的な営業活動（投資信託残高・顧客数・積立投信の増加実績）に対する業績評価を実施しております。今後さらに業績評価体系を見直し、お客さま本位の販売態勢の整備を進めてまいります。

## 4. お客さま本位の徹底とプロフェッショナルな人材の育成

各種専門資格の取得奨励等による役職員の専門知識の習得や提案スキルの向上により、お客さま本位の徹底を図っております。引き続き、役職員一人ひとりのスキル向上を支援する研修・教育体系の充実や、高度な知識が必要なプロフェッショナル人材の育成に注力してまいります。

## 【①運用損益別顧客比率】

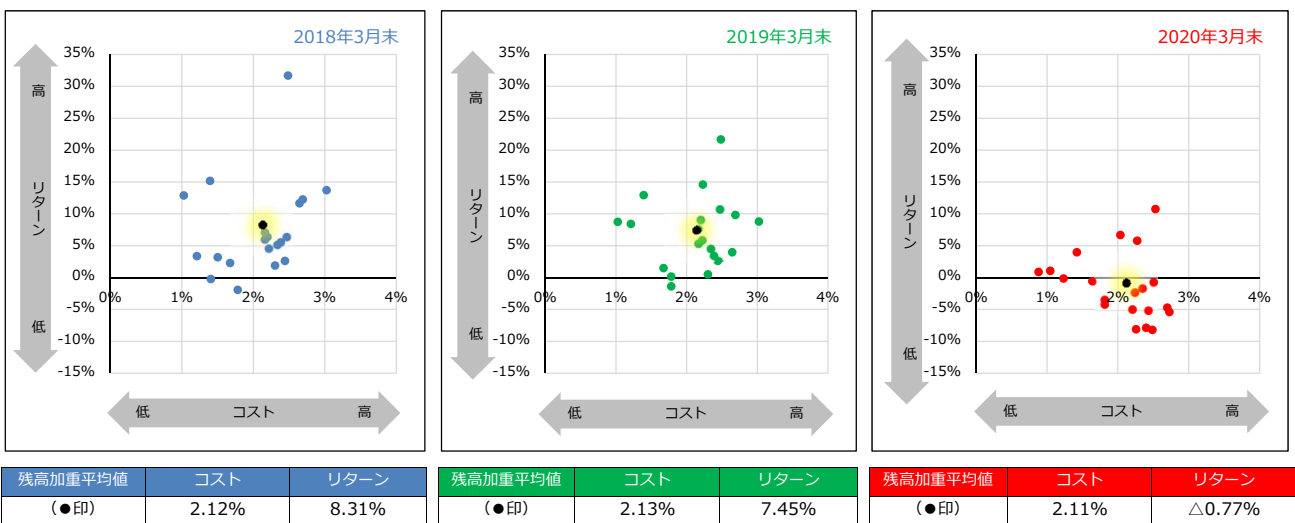


・投資信託を保有している個人のお客さまについて、基準日時点の保有投資信託に係る購入時以降の累積の運用損益（手数料控除後）を算出し、運用損益別にお客さまの比率を示した指標です。

・解約済みの投資信託の損益は含まれておりません。

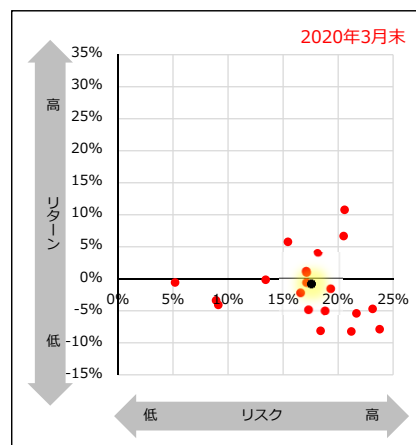
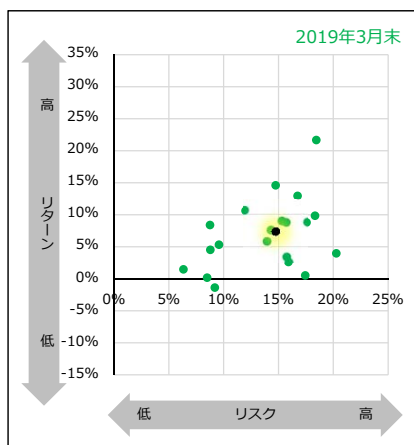
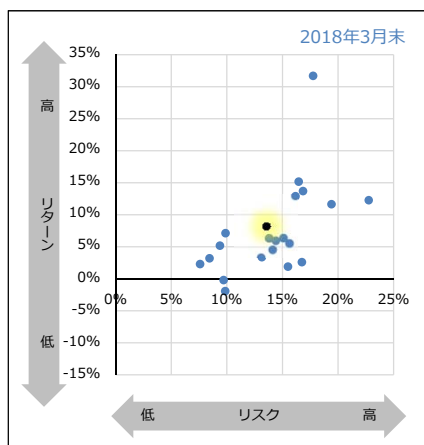
◆2020年3月末現在、新型コロナウイルス感染拡大に伴う株式相場の下落の影響を受け、投資信託の運用損益率がプラスとなったお客さまの比率は23.1%（2019年3月末比： $\Delta 24.5\%$ 、2018年3月末比： $\Delta 19.2\%$ ）となっています。なお、新型コロナウイルスの感染が拡大する前の2019年12月末時点では、運用損益率がプラスとなったお客さまの比率は63.4%でした。

## 【②預り残高上位20銘柄のコスト・リターン】



・預り残高上位20銘柄（設定後5年以内の銘柄を除く）について、銘柄ごとおよび預り残高加重平均のコストとリターンの関係を示した指標です。

### 【③預り残高上位20銘柄のリスク・リターン】



残高加重平均値	リスク	リターン
(●印)	13.56%	8.31%

残高加重平均値	リスク	リターン
(●印)	14.72%	7.45%

残高加重平均値	リスク	リターン
(●印)	17.52%	△0.77%

・ 預り残高上位20銘柄（設定後5年以内の銘柄を除く）について、銘柄ごとおよび預り残高加重平均のリスクとリターンの関係を示した指標です。

◆ 2020年3月末現在、投資信託の預り資産残高上位20銘柄（設定後5年以内の銘柄を除く）のうち6銘柄でリターンがコストを上回っており、うち1銘柄において10%を超えるリターンとなっています。

◆ 残高加重平均コストは2.11%、残高加重平均リスクは17.52%、残高加重平均リターンは△0.77%となっています。

### 【投資信託預り残高上位20銘柄】

2020年3月末

順位	前年 順位	前々年 順位	ファンド名	コスト	リスク	リターン
1	1	1	新光US-REITオープン	2.23%	16.59%	△2.24%
2	3	7	MHAM新興成長株オープン	2.53%	20.58%	10.77%
3	2	2	新光ブラジル債券ファンド	2.34%	19.23%	△1.61%
4	4	3	アジア・オセアニア好配当成長株オープン（毎月分配型）	2.42%	18.73%	△5.02%
5	-	-	女性活躍応援ファンド	2.04%	20.49%	6.68%
6	8	13	SMTAMダウ・ジョーンズ インデックスファンド	1.42%	18.13%	3.99%
7	6	8	ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド（毎月決算型）	2.49%	21.19%	△8.20%
8	7	5	ワールド・リート・オープン（毎月決算型）	2.26%	18.40%	△8.10%
9	5	4	ダイワJ-REITオープン	1.23%	13.42%	△0.14%
10	9	6	MHAM豪ドル債券ファンド（毎月決算型）	1.82%	8.90%	△3.37%
11	11	9	ハリス世界株ファンド（毎月決算型）	2.70%	23.13%	△4.70%
12	10	-	ニッセイ健康応援ファンド	2.27%	15.44%	5.79%
13	13	10	グローバル・ソブリン・オープン（毎月決算型）	1.71%	5.19%	△0.56%
14	12	15	MHAM株式インデックスファンド225	1.05%	17.08%	1.08%
15	17	14	ラサール・グローバルREITファンド	2.20%	17.29%	△4.84%
16	-	-	DIAMオーストラリアリートオープン	2.40%	23.76%	△7.86%
17	16	8	アジア好利回りリート・ファンド	2.49%	17.10%	△0.67%
18	15	11	新光ピュア・インド株式ファンド	2.73%	21.66%	△5.39%
19	-	-	日経225ノーロードオープン	0.88%	17.10%	0.89%
20	19	16	ダイワ高格付カナダドル債オープン（毎月分配型）	1.82%	9.11%	△4.07%
				2.11%	17.52%	△0.77%

※設定後5年以内の商品を除く上位20銘柄により算出（販売停止中の銘柄を含む）  
 ※リスク、リターンはモーニングスターの月次リターンデータを基に作成  
 ※2020年3月末の残高加重平均の算出については、個人のお客さまのみを対象としています